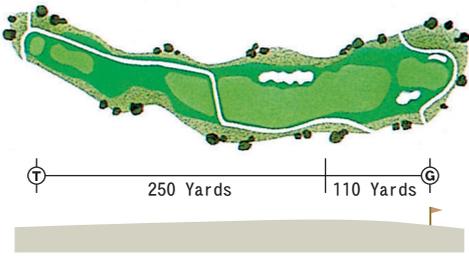
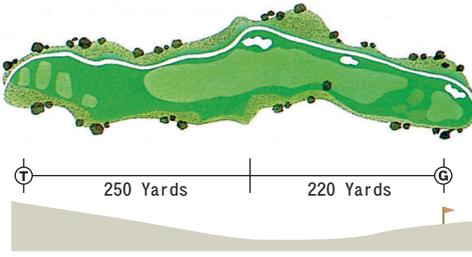


No.1 BT:360/RT:328/LT:308/PAR:4/HDCP:13



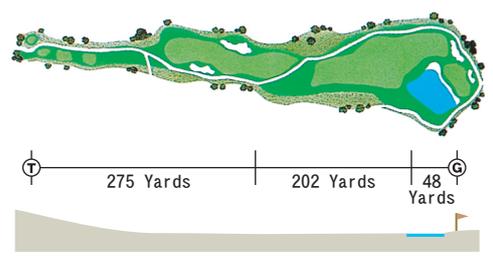
巨大パラボリアンテナが、プレーヤーを歓迎するかのようによびえ立つスターティングホール。
 ■TEE：バンカー左はすぐにOBゾーンのため、フェアウエーセンターから右サイドが狙い目。右サイドはOB無し
 ■2ND：右にカップが切られた場合はバンカー越えになるため、キャリアーでの距離が必要。
 ■グリーン周り：右サイドからのアプローチは順目なので、ランの計算が難しい。また、左サイドからは逆目のため、ショットに注意。
 ■グリーン：右側が高い2段グリーン。芝目が海側へ向いているので、下りのパッティングは要注意。

No.2 BT:470/RT:454/LT:360/PAR:4/HDCP:1



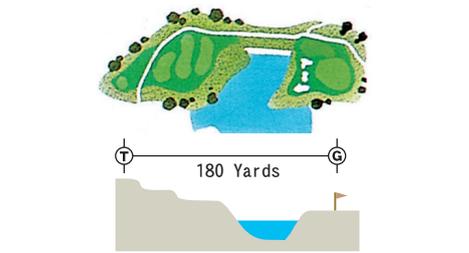
一番難易度の高い、長いミドルホール。グリーン手前100ヤード地点の1本松が枝を大きく広げて、2オンをさらに難しくしている。
 ■TEE：ティーショットの落下地点が狭くなっている。100ヤード地点にある松を避けて左サイドが狙い目。
 ■2ND：フェアウエーはフラットに見えるが、若干の上り。グリーン手前のグラスバンカーを越えるためにはキャリアーでの距離が必要。
 ■グリーン周り：グリーン奥・右側からは下り・順目のアプローチになってしまうので要注意。
 ■グリーン：グリーン奥からはすべて下りの順目のラインなので注意したい。

No.3 BT:525/RT:477/LT:446/PAR:5/HDCP:9



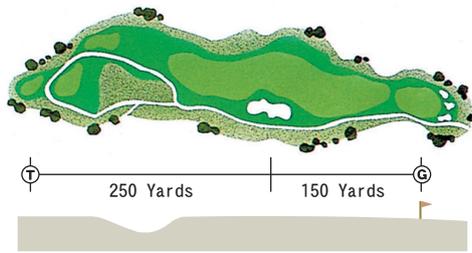
遠く瀬底大橋を望む、打ち下しのロングホール。
 ■TEE：右バンカー越え狙いで、距離を稼ぐ2オン狙いも可能。
 ■2ND：左足下がりのため、打球が低くなりスライ스가出やすく、クラブ選択が要となる。
 ■グリーン周り：池手前ギリギリだと左足下りのライのため、アプローチが難しくなる。また奥のバンカーからだと下りのアプローチになる。
 ■グリーン：横長の受けグリーンだが、手前は池向きに順目、奥はバンカー方向に順目で、芝目が逆になっているのが特徴。

No.4 BT:180/RT:134/LT:112/PAR:3/HDCP:15



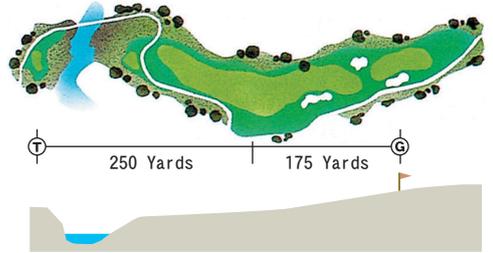
ティー前の深い谷と、受けグリーンが見た目以上にグリーンを近く感じさせる。風の計算を間違えないようにして1オンを狙いたい。
 ■TEE：グリーン上空で風が巻くので、フラッグだけでなく木の揺れ方も参考に。
 ■グリーン周り：グリーン右手前のバンカーは高さで距離があるため注意したい。
 ■グリーン：芝目が複雑。右サイドは下りの順目で繊細なタッチが必要。

No.5 BT:400/RT:353/LT:323/PAR:4/HDCP:7



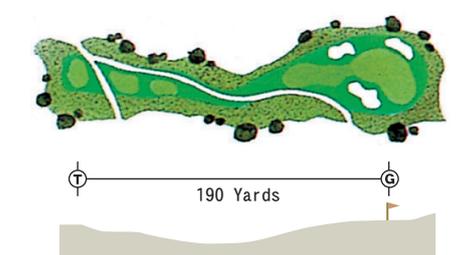
ティーショットは左サイドへ。やや御碗型の縦に長いグリーンなので、ピンまでの距離を正確に。
 ■TEE：バンカー左狙い。バンカーを越えるにはキャリアーで230ヤード必要。
 ■2ND：グリーン手前がくびれており、グリーンも縦長なので距離感と方向性が必要。特にグリーン上空の風向きに注意。
 ■グリーン周り：グリーン左右ともにOBラインが近く花道からは逆目の上りになる。
 ■グリーン：グリーン奥から順目で全体的に受けているため、ピン奥からは要注意。

No.6 BT:425/RT:321/LT:321/PAR:4/HDCP:3



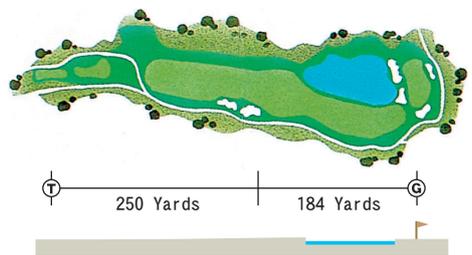
バックティーからは谷越えの長いミドルホール。
 ■TEE：フェアウエー左サイドの松を避けてのセンター狙いだが、210ヤード以上飛ぶと左足上がりになる。
 ■2ND：2打目の打ち上げは1~2クラブ大きめに。グリーン手前バンカーは高さがありグリーンが見えない。
 ■グリーン周り：グリーン左サイドからは比較的アプローチは容易。右サイドからは下り傾斜のため難しい。
 ■グリーン：奥が高い縦長の2段グリーン。奥から順目の下りラインになるので要注意。

No.7 BT:190/RT:163/LT:141/PAR:3/HDCP:17



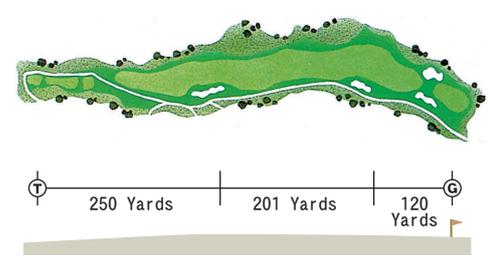
砲台グリーンのため風の影響も受けやすく、正確なショットが求められるコース。
 ■TEE：周りが林に囲まれているため、風向きが分かりにくい。グリーン手前が受けているのもあり、キャリアーでの距離が必要。
 ■グリーン周り：グリーンが砲台状になっており、左サイドのラフは芝の茎が強くクラブの抜けが悪い。アプローチの距離感も合わせにくい。
 ■グリーン：比較的平坦に見えるが、微妙な傾斜と芝目がある。特にグリーン手前側は傾斜と芝目が重なり、意外と速い。

No.8 BT:434/RT:373/LT:320/PAR:4/HDCP:5



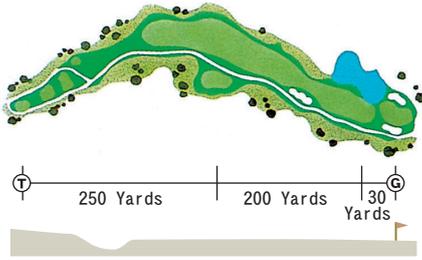
池、バンカー、そしてグリーンと重なり、その距離感を近く感じさせるが、ロングドライブなら思い切って2オンを狙いたい。
 ■TEE：バンカーを越えたあたりから池に向かって下っているため、ティグラウンドの位置によっては池に入る可能性もあり。
 ■2ND：横長で奥行きが無いグリーンは前後を4つのバンカーに囲まれており、受けていないのでキャリアーで落ちるとオーバーの可能性大。
 ■グリーン周り：グリーン左サイドからは順目になり、若干の下りになるため、速い。
 ■グリーン：グリーン奥の真ん中から手前と奥に向かってははっきりと芝目が分かっている。パッティング前に芝目の確認を。

No.9 BT:571/RT:534/LT:499/PAR:5/HDCP:11



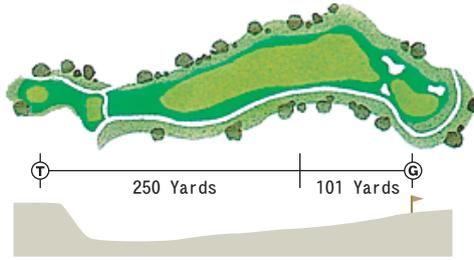
ゴーイングアウトの最終は、思い切って打てるロングホール。
 ■TEE：ティーショットはフェアウエーセンター狙い。左ラフは芝が絡みつくので要注意。
 ■2ND：軽く右へ曲がっているため、バンカーの上狙い。バンカーを避けて左へ逃げすぎると、林が邪魔になりグリーンが狙えなくなる。
 ■グリーン周り：グリーンが花道以外は砲台状になっており、ラフは芝の茎が強くクラブの抜けが悪いので要注意。
 ■グリーン：縦長のグリーンは方向性重視。手前から右奥へ芝目が向いているので見た目以上に切れる。

No.10 BT:480/RT:471/LT:440/PAR:5/HDCP:10



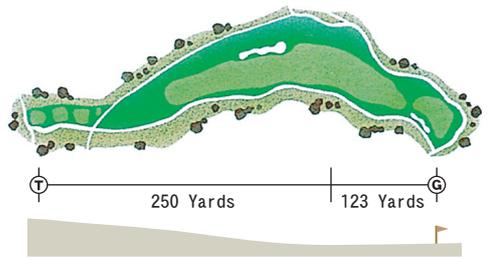
距離の短いロングホールだけに、ティーショットの狙い処が決め手になる。
 ■TEE：手前の谷越え狙いだが、カート道より右側は2打目が打ちにくい。
 ■2ND：ティーショット次第で2オンも十分狙えるが池越えのため、キャリーの距離が必要。
 ■グリーン周り：花道からのアプローチは容易。右バンカーからは下り傾斜と順目のため、ボールを止めにくい。
 ■グリーン：グリーン左から右へ芝目が流れている。傾斜と芝目が一緒のため、曲がり具合は大きめに見たほうが良い。

No.11 BT:351/RT:291/LT:291/PAR:4/HDCP:16



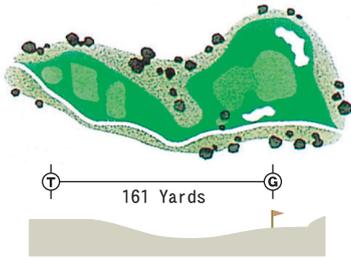
ティーショット、セカンドと無理をせずにパッティングチャンスに期待。
 ■TEE：ドライバーでは左林へ突き抜ける可能性も。攻めるなら右斜面中腹狙いで。
 ■2ND：見た目より上っているため、残り距離をしっかり打っていききたい。
 ■グリーン周り：グリーン左手前バンカーに入るとノーチャンス。奥からのアプローチも下り傾斜がきついので難しい。
 ■グリーン：奥からは傾斜がきついので、出来る限りカップ手前から攻めたい。

No.12 BT:373/RT:353/LT:333/PAR:4/HDCP:8



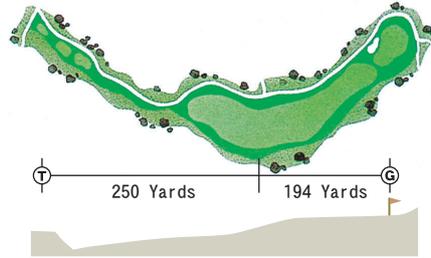
東シナ海へ向って打ち下ろす、やや右ドッグのミドルホール。
 ■TEE：フェアウエー全体が左へ傾斜しているため、センター狙いと2打目の距離が残る。思い切って右斜面中腹狙い。
 ■2ND：グリーンも全体的に左へ傾斜しているため、グリーンセンターよりも右狙いで。
 ■グリーン周り：花道・グリーン左サイドからのアプローチは容易。グリーン右バンカー・グリーン奥からは傾斜と芝目が順目のため注意したい。
 ■グリーン：グリーン右奥からの下り傾斜と芝目が同じなので、カップより奥に付けるとノーチャンス。

No.13 BT:161/RT:145/LT:120/PAR:3/HDCP:14



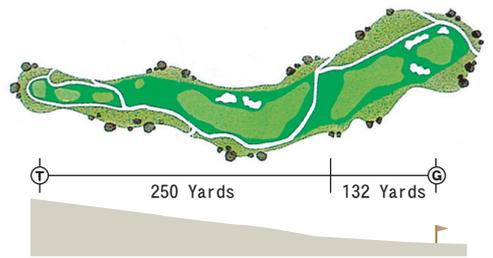
林の中、鮮やかに庭園風に収まったショートホール。
 ■TEE：グリーンオーバー厳禁。奥からは下り順目のアプローチが残る。林上空の吹きぬげる風に要注意。
 ■グリーン周り：グリーン左奥バンカーからは、グリーンの傾斜がきついため難しい。
 ■グリーン：右サイドは傾斜がきつい。グリーン右側からのパッティングは曲がり具合に要注意。

No.14 BT:444/RT:427/LT:335/PAR:4/HDCP:2



打ち上げて、大きく左ヘドッグレグするインの難所。
 ■TEE：左サイドを狙いすぎると2打目が狙いにくい。フェアウエーセンター狙いで。
 ■2ND：打ち上げとつま先上がりのライになるため、グリーン右サイド狙い。グリーン左手前に木があるので要注意。
 ■グリーン周り：グリーン右サイドからのアプローチは容易。
 ■グリーン：馬の背になっていて芝目が右から左に流れているため、ラインが読みにくい。

No.15 BT:382/RT:364/LT:300/PAR:4/HDCP:6



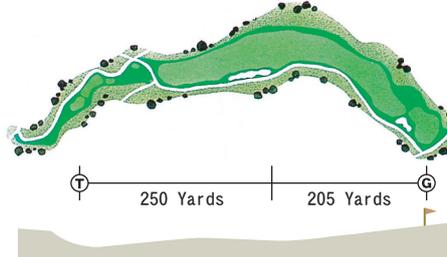
左サイドのバンカーを気にして右へ逃げすぎると、トラブルが待つミドルホール。
 ■TEE：ティーショットは左林ギリギリが狙い目。右に行き過ぎると粘っこいラフが待ち受ける。
 ■2ND：グリーン左右を深いバンカーが囲む。方向性重視で。
 ■グリーン周り：グリーン左サイドの2個のバンカーは高さが有り難しい。
 ■グリーン：傾斜と芝目が逆のため、カップの前後からだ見た目より曲がりが少ない。

No.16 BT:180/RT:163/LT:120/PAR:3/HDCP:18



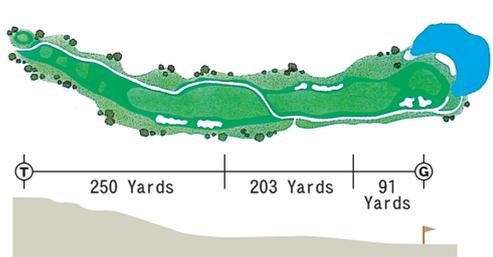
東シナ海の紺碧の海を望むジ・アッタテラス自慢のコース。
 ■TEE：打ち下ろすので1~2クラブは小さめに。上空の風はグリーン右の木の揺れを参考に。
 ■グリーン周り：グリーン周りの3個のバンカーは砂がしまっていて、クラブが弾かれてしまう。
 ■グリーン：グリーン手前から奥に向かっての順目。曲がり具合は少なめに見たほうがよい。

No.17 BT:455/RT:431/LT:350/PAR:4/HDCP:4



恩納岳のふもとに大きくフェアウエーが流れるミドルホール。
 ■TEE：無理にバンカー越えを狙わずフェアウエー左サイドから攻めたい。
 ■2ND：2打目は上りの距離を見て、1~2クラブ大きめの選択を。
 ■グリーン周り：グリーンを外しても、左サイドからならアプローチも比較的容易。
 ■グリーン：奥が高い縦長の2段グリーンで、カップと逆の段にオンすると3パットの可能性大。特に下の段は順目の下りのため要注意。

No.18 BT:544/RT:506/LT:462/PAR:5/HDCP:12



フィニッシングホールとしての舞台を備えたロングホール。
 ■TEE：左サイドはOBゾーンが近いので、右バンカーの先狙いで。
 ■2ND：花道両サイドにバンカーがある。100ヤード以内はフラットなライなので、バーディーチャンスも十分可能。
 ■グリーン周り：グリーン奥からのアプローチは、下り傾斜になるので要注意。
 ■グリーン：受けグリーンではあるが、グリーン手前から奥に向かって順目のため上りも意外と速い。